

※DDH法(マイコバクテリア法)

喀痰培養検査で、小川培地に発育した菌コロニーの同定検査に最適の方法です。

1.DDH 法の特徴

- (1) 1 回の検査で 18 菌種の同定ができる。
- (2) 培養菌 1 コロニーでも同定可能である。
- (3) 1 検体毎の試薬キットなので、試薬の浪費が遺伝子検査の中では一番少ない。
- (4) 保険請求の査定減がまずない。

2.欠点

- (1) 核酸の抽出がうまくいかないと、同定できない。
- (2) 洗浄操作において、洗浄液をきれいに取らないと、すべての反応ウェルが青色に発色して同定できない。
以上の 2 点に注意すれば、最良の同定方法です。
- (3) 液体培地および検体から直接同定が出来ない。



(大分県東部保健所 検査課 診療放射線担当 平成 27 年 11 月 18 日作成)